



日本共産党港区議会議員

星野たかし

区政報告

No.116
2007年
1月

日本共産党港区議団

港区芝公園1-5-25
TEL(3578)2945 FAX(3578)2947
《連絡先》3449-1202(星野自宅)
[星野HP]http://www.minatoku-hoshino.com/
[Eメール]hoshino@jcp-minatokugidan.gr.jp

安心して住み、営業できる港区へ 日本共産党港区議員団の提案

○六年第四回定例会で代表質問

昨年十一月三十日、港区議会第四回定例会で、日本共産党港区議員団を代表して区長、教育長に質問を行いました。質問の要旨を紹介します。



障害者施設への報酬見直しと支援拡大を。
孤立状態にある一人暮らし高齢者は二二・八%の調査結果。支援対策を早急に。正月を一人で過ごさせないための取り組みを。

1 福祉充実の取り組みについての提案
税制改悪で深刻な状況におかれている区民に、減免制度の創設、生活が成り立つよう支援策を早急に。
介護保険料を引き下げるため、国が負担すべき調整交付金の不足分は、当面港区が負担を。
特養ホームの新たな増設計画を。
全ての在宅介護サービス利用料を三%負担に軽減を。
新たな介護度認定者にも自立支援型ベッドを。
障害者自立支援法の応益負担の撤廃を求めると共に区が事業主の「移動支援」「日常生活用具」は無料に。

2 区民本位のまちづくり、災害に強い、安全なまちづくりについての提案
街を破壊する再開発への補助金支出の中止を。
絶対高さ制限を区民の意見をくみとる中で検討・実施を。
区営住宅の建設推進を。
区民向け住宅の現行家賃引き下げを。
子育て世帯、若者が住めるため家賃助成の復活を。
日常的な耐震診断、補強の必要性の周知を。
無料耐震診断の非木造住宅へ拡大し、災害時要援助者の住宅には支給実施し耐



高松中学校での防災訓練

震補強に結びつを。
耐震助成の利用者負担の軽減を。
緊急時の要援護者対策の具体化を。
学校給食施設の災害時の利用を。
都市型水害をなくすため雨水貯留施設の設置拡大を。
消防団分団本部の施設面での改善と消防団予算の大幅増額を。
「ちいばす」の路線拡大を。

3 廃プラスチックの焼却問題、緑を守ることにについての提案
ダイオキシンの慢性毒性は、わずかの発生でも生物的影響がある。焼却方針の撤回を。
ゴミ発生抑制の強化と住民の参加と協力で、分別拡

大トリサイクルの徹底を。
緑の保護・育成は既存樹木を守ることを基本に。
保護樹木・樹林の補助金
屋上緑化等の助成額引き上げを。

4 商店や中小企業の繁栄、若者の雇用を進める港区についての提案
(仮称)産業振興会議の設置を
無担保無保証人の直貸し制度の創設を。
町会・商店街への補助金増額の増額を。
区内の大手企業に若者の正規雇用を求めるべき。
区として区民サービス向上のためにも正規雇用の拡大を。
「雇用検討会」を設置し恒常的事業として進めるべき。



四の橋商店街

二面へつづきます

今年もみなさんとご一緒に頑張ります



港区議会議員
星野たかし



元参議院秘書
田村智子



医師
谷川智行



元足立区長
歯科医師
吉田万三

なんでも相談会

1月25日(木) 午後7時より 白金福祉会館集会室 弁護士・専門家が対応します
事前にご予約下さい ご相談は無料です 毎月25日(土・日・休日は翌日)

- 5 子どもたちがいきいきと学習・仲間づくりができる学校への提案
いじめ問題は、学校、保護者、地域が一体となり問題解決を。
- 区独自に三〇人学級・少人数学級を。当面、講師を全学年に拡大を。
- 入学準備金補助制度、学校給食の無料化、高い修学旅行費への補助の実施を。
- 学校選択希望制は早急に見直しを。
- 学校から毎年寄せられる施設改善要望に全面的に応えるべき。
- 6 区民サービス向上、安全を守る区政運営についての提案
なんでも民営化の路線を止め、必要に応じて区職員を増員し、指定管理者制度を見直し、直営方式あるいは業務委託方式に。
- 7 平和な港区をめざす取り組みについての提案
麻布米軍ヘリ基地は区民、行政、議会、団体が一体となつて早期撤去実現を。
- 平和コンサートを平和の灯を設置した区立芝公園で行うよう具体化を。
- 8 石原知事の都民の税金を使った、海外豪遊など「都政の私物化」を許さない
浪費型オリンピックより都民の生活・福祉の充実に

巨大ビル建設に巨額の補助金

容積率は倍増、人口は激減…これが実態

森ビルなど大企業がすすめる市街地再開発事業、赤坂・六本木開発（アークヒルズ）に二十九億円、六本木六丁目開発に六十六億円、白金一丁目東地区開発に二十億円など、二十五年間で十地区に二百五億円もの補助金を投入し、超高層ビルの林立する港区にしてしまわれました。「もうこれ以上の開発はやるせない」という多くの区民の声をよそに、国の都市再生路線を先取りするかのようになり、これから五年間だけでも百七十億円もの補助金支出を計画しています。

再開発は、補助金支出にとどまらず、容積率も大幅にアップして一〇〇mを超える超高層ビルの林立を推進しています。区長はさかんに「安全なまち、住宅もできる」からと言います。

しかし、アークヒルズでは開発前と現在の人口を比べると四四％に激減、六本木ヒルズでは七九％に減少。住宅と言っても超高級住宅で庶民には住めないものです。



品川駅東口の超高層ビル群

< 主な市街地再開発事業の内容 >

地区名	補助金	容積率の変更	人口変動	変動率
赤坂・六本木地区 (アークヒルズ) 森ビル	29億円	380% 740	567人 252人	44%
六本木一丁目西地区 森ビル、住友不動産	33.5億円	375% 755	489人 137人	28%
六本木六丁目(六本木ヒルズ) 森ビル、朝日放送	66億円	321% 719	1154人 921	79%

シンドラ社長を参考人招致 区議会史上初 シティハイツ竹芝事故 共産党の提案で



エレベーター事故等対策特別委員会

シティハイツ竹芝で起きた高校生死亡事故の原因究明と再発防止のため、区議団の提案で「エレベーター事故等対策特別委員会」が設置されました。

十一月二十七日には、党区議団の提案でシンドラ社長の参考人招致しました。参考人招致は区議会史上初です。

参考人質疑では、事故原因の究明に際してスミス社長は、「警察の捜査の妨げとなるので、答えられない」との態度に終始しました。しかし、「シンドラ社が警察に事故原因に関する『意見書』を提出したのか」との党委員の質問に、スミス社長は「イエス」と答えました。

仮設保育園舎が継続して使用できます 継続使用求める請願採択 飯倉保育園

東麻布の街づくり協議会から「待機児解消のため旧飯倉小学校内の保育園施設の活用促進を求める請願」が提出され、全会一致で採択されました。



保育園の待機児童は11月1日現在428名にもなります。

区は待機児解消のために、改築による定員拡大や、定員の弾力化などを行っていますが、待機児は増える一方です。

党区議団は10月23日、助役に緊急対策として、飯倉保育園、南青山保育園の仮園舎を継続使用するよう申し入れました。

また、11月議会において、本会議の一般質問でも取り上げました。

区も飯倉保育園の仮園舎については緊急対策的な保育施設として活用するための検討を進めています。

また、党委員の「ブレーキの製造元、コイルやパッドなどの製造元と製造年月日を明らかにせよ」との質問に対して、「後日資料を提出する」と答えました。

党委員は、再度の参考人招致と他の関連企業の参考人招致も求め、委員会としても必要だと判断しています。引き続き原因究明、再発防止に向け奮闘します。



庶民いじめの増税反対、憲法9条改悪反対の声をあげましょう。